

コケヒメトビケラ

Scelotrichia ishiharai

トビケラ目
ヒメトビケラ科

伊豆諸島



環境省

【形態・生態】

成虫の体長約2mm、前翅長は約2.5mm。全身が黒色の小さなトビケラ。幼虫は水しぶきがかかる岩盤に生えたコケ類を食べ、コケを携巢の材料にも使用する。分布は局限される傾向にある。細流の小規模な滝周辺に生息する。

【分布の概要】

伊豆諸島、北海道、本州、四国、九州

【伊豆諸島における生息環境】

御蔵島の湧水河川の2地点で記録があるが、いずれの地点においても生息環境が限定されている。

【伊豆諸島における生存に対する脅威と保全上の留意点】

生息環境が限定されるので、生息地点およびその周辺環境の保全が重要であると考えられる。

【関連文献】

Ohkawa, A. & T. Ito, 2002; Satake, K. & R. B. Kuranishi, 2007.

(執筆: 倉西良一・佐竹潔)



シコツナガレトビケラ

Rhyacophila shikotsuensis

トビケラ目
ナガレトビケラ科

伊豆諸島



環境省

【形態・生態】

成虫の体長約10mm、開翅長は約20mm。前翅はやや光沢がある黒色。羽化時期は晩秋。幼虫は細長い体型のナガレトビケラで体長約20mm。頭部は黄色がかかった茶褐色で斑紋はなく細長い。頭幅は前半と後半ではほとんど変わらない。前脚脛節末端腹面の刺毛は刺状。気管鰓はない。尾肢鉤爪は二歯、末端の一歯は大きいもう一歯は小さい。尾肢に副爪はない。捕食者で河川上流から中流に生息する。

【分布の概要】

伊豆諸島、北海道、本州、四国、九州、南西諸島

【伊豆諸島における生息環境】

御蔵島の湧水河川の2地点で記録がある。分布域は比較的狭いと考えられる。

【伊豆諸島における生存に対する脅威と保全上の留意点】

分布域が狭いので生息河川及びその周辺環境の保全が重要であると考えられる。

【関連文献】

川合禎次・谷田一三(編), 2005; Satake, K. & R. B. Kuranishi, 2007.

(執筆: 倉西良一・佐竹潔)



ウルマーシマトビケラ

Hydropsyche orientalis

トビケラ目
シマトビケラ科

伊豆諸島



環境省

【形態・生態】

成虫の体長5～6mm、開翅長は18～20mm。前翅には灰黄色と褐色の毛が混じり合って生え、網状文をつくる。後翅は半透明で暗色。幼虫は砂粒や植物片でつくった巢の上部に漏斗状の捕獲網を張って、流下物をこの網で捕らえて食べる。微細粒状有機物食者。河川の上流から下流に生息する。

【分布の概要】

伊豆諸島、北海道、本州、四国、九州、南西諸島; ロシア(沿海州)、朝鮮半島

【伊豆諸島における生息環境】

神津島、御蔵島、八丈島、大島の複数の地点で記録がある。伊豆諸島では分布域が広いと考えられる。

【伊豆諸島における生存に対する脅威と保全上の留意点】

伊豆諸島では比較的広く分布しているが、河川改修や護岸などにより本種の生息環境が改変されてしまうおそれがある。

【関連文献】

倉西良一, 2002; Satake, K. et al., 2005; 倉西良一・酒井周, 2010.

(執筆: 倉西良一・佐竹潔)



コカクツツトビケラ

Lepidostoma japonicum

トビケラ目

カクツツトビケラ科

伊豆諸島

*

環境省

【形態・生態】

成虫の体長約 8 mm、開翅長は約 15 mm。前翅は黒褐色で長毛が多い。触角の第 1 節が太く長い。幼虫は、円筒形で体長約 10 mm。幼虫の腹部には単一棒状の気管鰓がある。3 齢までの若齢幼虫は細かい砂粒で携巣を作るが 4 齢以降は落葉の破片に巣材を変える。雑食的な傾向を強く持つ落葉食者。河川中下流部に生息する。

【分布の概要】

伊豆諸島、北海道、本州、四国、九州、対馬、南西諸島

【伊豆諸島における生息環境】

神津島、御蔵島、八丈島の複数の地点で記録がある。伊豆諸島では分布域が広いと考えられる。

【伊豆諸島における生存に対する脅威と保全上の留意点】

伊豆諸島では比較的広く分布しているが、河川改修や護岸などにより本種の生息環境が改変されてしまうおそれがある。

【関連文献】

Satake, K. et al., 2005; 川合禎次・谷田一三, 2005.



(執筆: 倉西良一・佐竹潔)

【種名・学名などの準拠文献】

和名、学名、配列は評価者の見解による。

【留意種とした理由】

和名	留意種とした理由
コケヒメトビケラ	御蔵島で確認されている。個体数の増減については不明であるが、これまで 1 水系で採集されただけであり、島しょにおけるトビケラは非常にまれな存在であることから留意種とした。
シコツナガレトビケラ	
ウルマーシマトビケラ	神津島・御蔵島・八丈島で確認されている。個体数の増減については不明であるが、限られた水系で採集されており、島しょにおけるトビケラは非常にまれな存在であることから留意種とした。
コカクツツトビケラ	

【関連文献】

川合禎次・谷田一三 (編), 2005. 日本産水生昆虫 一 科・属・種への検索. 東海大学出版会. 1342 pp.

倉西良一, 2002. トビケラ目. In: 千葉県自然誌 本編 6 千葉県の動物 I 陸と淡水の動物, pp. 564-573. 千葉県.

倉西良一・酒井周, 2010. 伊豆大島で採集されたトビケラ目昆虫. 兵庫陸水生生物, (61・62): 35-39.

Ohkawa, A. & T. Ito, 2002. Redescription of *Scelotrichia ishiharai* Utsunomiya (Trichoptera, Hydroptilidae) with special reference to the biology of the immature stages. In: Mey, W. (ed.) Proceedings of the 10th International Symposium on Trichoptera. *Nova Supplementa Entomologica*, 15: 449-458.

Satake, K., R. B. Kuranishi & R. Ueno, 2005. Caddisflies (Insecta: Trichoptera) collected from the Bonin Islands and the Izu Archipelago, Japan. In: Tanida, K. & A. Rossiter, (eds.) Proceedings of the 11th International Symposium on Trichoptera, pp. 371-381. Tokai University Press.

Satake, K. & R. B. Kuranishi, 2007. Further studies on caddisflies (Insecta: Trichoptera) collected from the Bonin Islands and the Izu Archipelago, Japan. In: Bueno-Soria, J., R. Barba-Alvarez & B. J. Armitage (eds.) Proceedings of the 12th International Symposium on Trichoptera, pp. 279-284. The Caddis Press.